

マーケットの動き（2020年5月11日～5月15日）

先週の国内債券市場は、ほぼ横ばいとなりました。

12日の10年国債入札や14日の30年国債入札では最終投資家の需要が確認されたことが相場の安心材料となりましたが、2次補正予算に伴う国債増発額が市場参加者の当初予想よりも大きくなる可能性が懸念され、週末にかけては軟調に推移しました。

投資環境見通し（2020年5月）

景気悪化と国債増発が材料視され、上下に振れやすい展開

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、各国中央銀行が積極的な金融緩和政策を行う中、日銀は国債買い入れ上限金額を撤廃し、マイナス金利の深掘りについては見送りました。世界的な景気悪化見通しが広がる一方、経済対策に伴う今後の国債増発の可能性は高いとみられ、国内長期金利は小幅のマイナス金利圏を中心としつつ、上下に振れやすい展開を予想しています。

	5月15日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	-0.01	▲0.00	▲0.03	0.08	0.05
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	388.38	▲0.08%	0.14%	▲0.49%	0.02%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

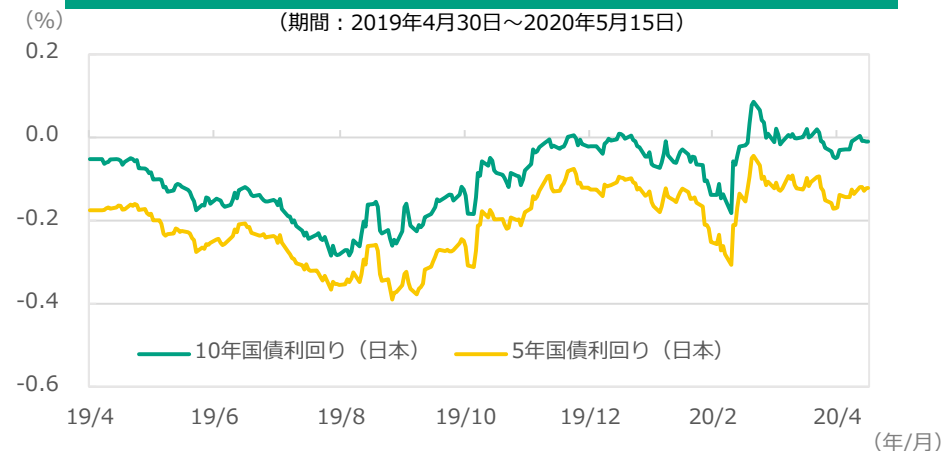
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202005_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2019年4月30日～2020年5月15日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年4月30日～2020年5月15日）



※2019年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成